

ゆるり

高千穂町国民健康保険病院 広報・接遇委員会



これまでの医療と 見えてきた課題

第12号誌の内容

- ・認知症サポーターキャラバン
- ・夜間避難訓練実施
- ・第55回全国自治体病院学会
- ・ユニフォーム変更について
- ・編集後記
- ・平成29年度外来診察表
- ・[連載]地域包括ケア病棟

3月14日に院内の委員会・部署ごとの活動や課題について報告する院内発表会が行われました。

当院のホームページはこちら
<http://www.takachiho-hp.jp/>



院内で認知症サポーターが新たに111人誕生しました！

当院では保健センターげんき荘（地域包括支援係）の佐藤浩子さんと田崎安子さんに講師をお願いして、認知症サポーター研修を行いました。お二人は認知症サポーターキャラバン・メイト（認知症サポーターを養成することができる講師）で公民館や学校など町内で多くの認知症サポーターを養成しています。今回、当院では接遇力アップの取り組みの一環として広報・接遇委員会の主催で開催しました。



第1回：35人、第2回：31人、第3回：45人が参加し、新たに111人が認知症サポーターとなりました。研修では認知症の進み方や家族の気持ち、そして本人のかかえる不安などを学びました。認知症の患者さまのみならず、皆様が安心してご来院いただけるよう、日々研鑽してまいりたいと思います。

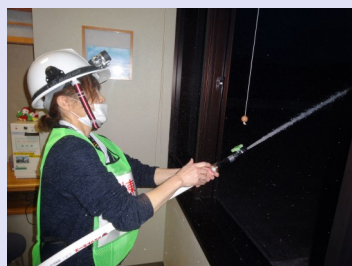
げんき荘（地域包括支援係）では、「認知症高齢者等にやさしい町づくり」を目指して、認知症サポーター養成講座を開催しています。認知症の方や家族が地域で安全に穏やかに暮らしていけるように、一人でも多くの方に認知症の事を知っていただき、サポーター（見守り、支えあう人）となって頂けるよう取り組んでいきます。

保険センターげんき荘 地域包括支援係 田崎安子



夜間避難訓練を実施！

平成29年3月16日に夜間避難訓練を実施しました。多くの職員が参加し放水訓練やエアストレッチャーの使用方法などを再確認しました。今後も職員の災害への意識を高め、有事に備えて訓練を行っていききたいと思います。



【エアストレッチャーの説明風景（間違い編）】

優秀演題に選ばれました！



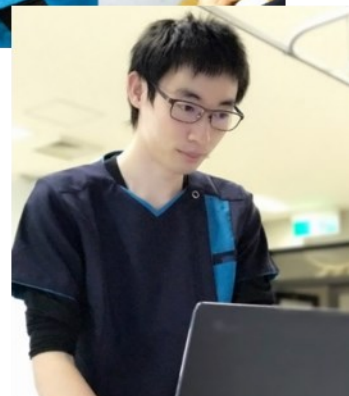
第55回全国自治体病院学会（平成28年10月20～21日：富山市）において当院職員の興枙裕樹（医療安全管理部 感染管理室副室長/看護部 副看護師長）が発表した演題が看護・看護

教育分科会推薦優秀演題に選ばれました。看護・看護教育分科会では585演題が発表されましたが、その中から特に優れた15演題が優秀演題として選ばれました。これは当院にとっても大変誇らしい事です。患者さんにとってより良い医療の提供ができるよう、今後も職員一丸となって日々研鑽してまいりますので今後ともご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願いいたします。



平成29年4月より 職員のユニフォームが変わります！

平成29年4月より全職種のユニフォームが変更になります。今回様々な色のユニフォームを採用することとなりました。鮮やかなユニフォームを着用することで、子供の恐怖心や緊張を和らげたり、入院患者様へのリラックス効果があるといわれています。職種が分かりにくいなど、皆様にご迷惑をお掛けすることがあるかもしれません。お困りの際は、お近くのスタッフにお声掛け下さい。職種を問わず、対応させていただきます。何卒、ご理解をお願いします。



* 編集後記 *

いきなりの熊本震災で始まった2016年度、高千穂も断水や落石、観光客の激減など大きな影響を受けました。しかしながら、私達の生活圏と密接に関わっている熊本でこのような災害が起きたことは、大規模な自然災害が決して他人事ではないと防災意識を非常に高める結果にもなったと思います。当院もこの教訓を糧に、災害時の拠点病院として皆様が常に安心して暮らせるべく体制を強化してまいります。人間は見つめている方向に進むようにできていると私は思っています。新年度は嬉しい出来事をこの紙面で届けられるよう、上を向いて進んでいきたいと思っています。

高千穂町国民健康保険病院 広報・接遇委員会委員長 松本孝博

【受付時間】

7:30～11:30（月～金） 及び 14:00～16:00（耳鼻咽喉科:月水金）

15:20～16:30（小児科）

平成29年4月1日より

【平成29年度外来診察表】

診療科		月	火	水	木	金
内科	1診	押方	押方	押方	興梠智子	押方
	2診	伊瀬知	伊瀬知	興梠智子	伊瀬知	興梠智子
	3診	黒木大介	興梠智子	黒木大介	黒木大介	黒木大介
	4診	黒木美穂	黒木美穂	伊瀬知	黒木美穂	黒木美穂
神経内科	神経内科は第4金曜日のみ（完全紹介予約制）					
腎臓内科	第1金曜:小倉記念病院医師、第3金曜日:九大病院医師(13:00～14:30)(完全予約制)					
外科		久米	熊大医師	久米	担当医	熊大医師
整形外科		塩月	塩月	塩月	塩月	塩月
		松岡	松岡	松岡	松岡	松岡
眼科※1		(熊大眼科)	-	(熊大眼科)	-	(熊大眼科)
小児科※2		興梠知子	興梠知子	興梠知子	興梠知子	興梠知子
泌尿器科		(熊大泌尿器科)	-	-	(熊大泌尿器科)	-
循環器科		-	(済生会医師)	-	-	(済生会医師)
耳鼻咽喉科		甲斐	甲斐(午前のみ)	甲斐(午後予約のみ)	甲斐(午前のみ)	甲斐
皮膚科		(神人)	-	(福島)	-	(熊大皮膚科)

※1：眼科予約は、平日、月・火・木曜日の午後2時から午後5時まで、電話（73-1700）にて受付けています。

※2：第3金曜日の小児科は熊大医師が担当する場合があります。6月、7月、9月、10月、12月、2月、3月の第1水曜日の小児科は発達相談のため午後は休診になりますのでご注意ください。

連載！【地域包括ケア病棟】

第4回（最終回）

地域包括ケア病棟入院料及び地域包括ケア入院医療管理料1・2を届け出ている宮崎県内の医療機関は28施設あり、当院は17番目に開設しました。ちなみに、隣県の熊本県は64施設申請されており、今後も全国的に増えることが予想され、地域の特徴に応じた地域包括ケア病棟の運営が望まれます。（H29年1月1日調査）

当院は中核病院としての役割があり、地域包括ケア病棟も、骨折や脳梗塞後の回復期の患者様が中心で、多くの方が在宅復帰されています。しかし、過疎化・高齢化が進み、介護施設入所を希望される方も増える傾向にありますが、対応できる施設が不足している現状もあります。

在宅介護への不安を解消するためには、入院中の日常生活動作練習や摂食・食事動作練習をリハビリスタッフや看護師だけで行うのではなく、ご家族にも積極的に介入して頂き、介護への不安が軽減できるよう解放された病棟となっていくことが、急性期から在宅までを結ぶ“要”として期待される地域包括ケア病棟の役割であると考えます。

